

2008（平成20）年度第5回東海地区協議会研究会運営委員会議事録

日 時 : 2008年12月3日（水）10時～11時30分
場 所 : 同朋学園名古屋キャンパス D○プラザ閲蔵2階多目的会議室
出席者 : 加藤直美（愛知工業大学）、山田 稔（愛知淑徳大学）、
山本祐子（朝日大学）、三浦慶嗣（中京女子大学）、
岩本祥子（中部大学）、井上映子（豊田工業大学）、
紅露 剛（南山大学）、
國枝泰周、中澤章浩、角田久子（同朋学園大学部）

<敬称略>

（議題）

1. 研究集会について

本日の研究集会のスケジュール等について別紙資料(日程表)に基づき研究会幹事校ならびに会場校より以下の確認があった。

- ・会場はD○プラザ閲蔵1階ホールD○において行う。
- ・参加者は運営委員を含めて計41名。
- ・受付は12時30分から行う。受付は運営委員で担当する。（2～3名ずつローテーションで）
- ・今回名札は配布しないことになった。
- ・14時40分から15時までを参加者の休憩時間とする。会場はD○プラザ2階多目的室。
- ・過去3回の研究会と本日の研究集会についてアンケートを行う。明日12月4日に同朋学園大学部より各加盟館宛にメールで送付することになった。

2. 次年度への申送事項について

- ・前回の運営委員会において、当年度メンバーから次年度メンバーへの引継ぎ等は1月以降に運営委員会を招集して行うことになっていたが、当面はメールでのやり取りで協議を行うことになった。ただし必要が生じれば1月以降に運営委員会を招集する。
- ・「新委員会」については、従来の図書館サービス・システム委員会と研究会のそれぞれの内容を引き継いでまとめ上げていく作業が必要となる。
12月11日の常任幹事会での承認の後、1月に予備委員会、3月には次年度へ向けての素案作成というスケジュールになる予定である。
次年度総会において規程改正が承認されれば次年度4月からの発足ということになる。（4月1日に遡っての規則改正となる見込み）
新委員会の幹事校については従来のようなローテーション制となる見込みであるが、運営委員数が増えすぎないように見直しを図ることも必要である。
従来の研究会の内容については、研究会の回数、1泊研修・見学会等をどのように盛り込んでいくのかなど、検討課題が多い。
その他、私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会のホームページの維持管理および機関誌『館灯』の編集などの重要な業務を新委員会に確実に申し送りするために、今後、研究会運営委員各位の意見を集約していく。

3. 『館灯』編集について

- ・原稿提出締切については、第1～3回研究会の講演者は12月25日、研究集会の講演者は1月10日とする。1月20日以降に三星印刷に原稿データを送る。初稿が上がるまでに約2週間かかる。3月中旬に完成予定。丸善に渡すものと各加盟館に発送するものに分ける。
- ・『館灯』の巻末の加盟館名簿について点検を行う。メールで各館に訂正箇所があれば指摘していただくよう幹事校より連絡する。
- ・第46号（2007年度）まで、全ページのヘッダーとして、見開き左ページに「館灯 第～号」、右ページに「記事タイトル」が記載されているが、「館灯 ～号 ～年～月～日」と「発行年月日」を入れたほうがわかりやすいのではないかという指摘を図書館サービス・システム委員会より受けているため、表紙とあわせて、「発行年月日」を記載すべきかどうかについて協議した。その結果、今年度から、見開き左ページ上部に、「館灯 47号（2008）」のように括弧の中に西暦年を入れることになった。（表紙には従来発行年度が記載されているので変更の必要なし）